

港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

『最高値』→『直近(8/4-8/25採取)』の順、単位（ベクレル／リットル）、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

令和7年8月26日までの東電データまとめ

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル／リットル程度含まれている。

セシウム134	ND(0.31)
セシウム137	0.39
全ベータ	ND(13)
トリチウム	ND(1.8)

※1

セシウム134	3.3 (H25/12/24)	→	ND(0.37)	1/8以下
セシウム137	7.3 (H25/10/11)	→	ND(0.36)	1/20以下
全ベータ	69 (H25/8/19)	→	ND(13)	1/5以下
トリチウム	68 (H25/8/19)	→	0.79	1/80以下

セシウム134	3.3 (H25/10/17)	→	ND(0.40)	1/8以下
セシウム137	9 (H25/10/17)	→	ND(0.38)	1/20以下
全ベータ	74 (H25/8/19)	→	15	1/4以下
トリチウム	67 (H25/8/19)	→	ND(1.7)	1/30以下

セシウム134	4.4 (H25/12/24)	→	ND(0.35)	1/10以下
セシウム137	10 (H25/12/24)	→	ND(0.33)	1/30以下
全ベータ	60 (H25/7/4)	→	14	1/4以下
トリチウム	59 (H25/8/19)	→	2.2	1/20以下

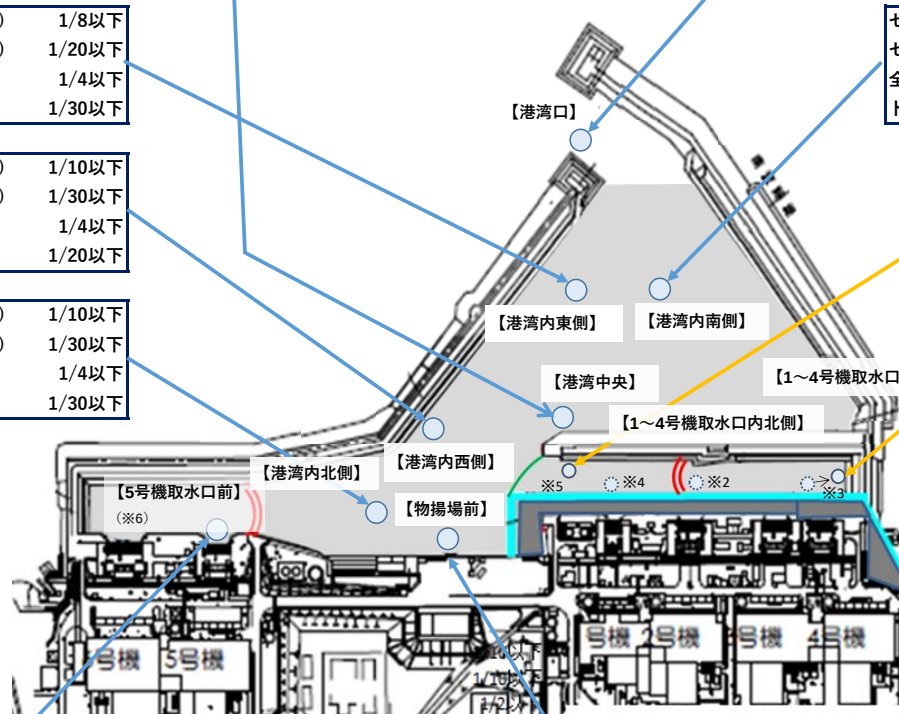
セシウム134	5 (H25/12/2)	→	ND(0.34)	1/10以下
セシウム137	8.4 (H25/12/2)	→	ND(0.26)	1/30以下
全ベータ	69 (H25/8/19)	→	15	1/4以下
トリチウム	52 (H25/8/19)	→	1.4	1/30以下

セシウム134	3.5 (H25/10/17)	→	ND(0.24)	1/10以下
セシウム137	7.8 (H25/10/17)	→	ND(0.25)	1/30以下
全ベータ	79 (H25/8/19)	→	14	1/5以下
トリチウム	60 (H25/8/19)	→	ND(1.4)	1/40以下

セシウム134	32 (H25/10/11)	→	ND(0.34)	1/90以下
セシウム137	73 (H25/10/11)	→	0.98	1/70以下
全ベータ	320 (H25/8/12)	→	14	1/20以下
トリチウム	510 (H25/9/2)	→	2.9	1/100以下

セシウム134	ND(0.33)
セシウム137	5.4
全ベータ	ND(13)
トリチウム	29

※1



- ※1: のモニタリングはH26年3月以降開始海側遮水壁の内側は埋め立てによりモニタリング終了。
 ※2: 当該地点については、H30年12月12日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。
 ※3: 当該地点については、H31年2月6日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング地点移動。
 更に当該地点について、R5年1月20日以降、港湾魚類対策としてK排水路排水口へのシルトフェンス設置を行うことから、シルトフェンス外側へ移動（採取地点は東側に約3m移動。）。
 ※4: 当該地点については、H31年4月3日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。

※5: 当該地点については、周辺エリア工事に伴い、2023年5月25日から陸側に移動。

※6: 当該地点については、ALPS関連設備設置工事等の完了に伴い、2023年7月3日以降、「6号機取水口前」から「5号機取水口前」に移動。

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

セシウム134	2.8 (H25/12/2)	→	ND(0.29)	1/9以下
セシウム137	5.8 (H25/12/2)	→	ND(0.22)	1/20以下
全ベータ	46 (H25/8/19)	→	ND(13)	1/3以下
トリチウム	24 (H25/8/19)	→	ND(2.3)	1/10以下

セシウム134	5.3 (H25/8/5)	→	ND(0.25)	1/20以下
セシウム137	8.6 (H25/8/5)	→	ND(0.31)	1/20以下
全ベータ	40 (H25/7/3)	→	ND(13)	1/3以下
トリチウム	340 (H25/6/26)	→	ND(1.8)	1/100以下

出典：東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

単位（ベクレル／リットル）、検出限界値未満の場合はNDと表記し、（ ）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

（直近値 7/21 - 8/26採取）

令和7年8月26日までの東電データまとめ

	法令濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合 1 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.32)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.32)
全ベータ	: ND (H25) → 14
トリチウム	: ND (H25) → ND(0.33)

【港湾口東側(沖合 1 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.38)
セシウム137	: 1.6 (H25/10/18) → ND(0.27) 1/2以下
全ベータ	: ND (H25) → 15
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18) → ND(0.32) 1/20以下

【港湾口南東側(沖合 1 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.39)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.31)
全ベータ	: ND (H25) → ND(12)
トリチウム	: ND (H25) → ND(0.33)

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.32)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.28)
全ベータ	: ND (H25) → 15
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18) → ND(0.30) 1/20以下

【北防波堤北側(沖合 0.5 km)】

【港湾口】

セシウム134	: 3.3 (H25/12/24) → ND(0.37) 1/8以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11) → ND(0.36) 1/20以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19) → ND(13) 1/5以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19) → 0.79 1/80以下

【南防波堤南側(沖合 0.5 km)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.31)
セシウム137	: ND (H25) → ND(0.31)
全ベータ	: ND (H25) → ND(12)
トリチウム	: ND (H25) → 0.68

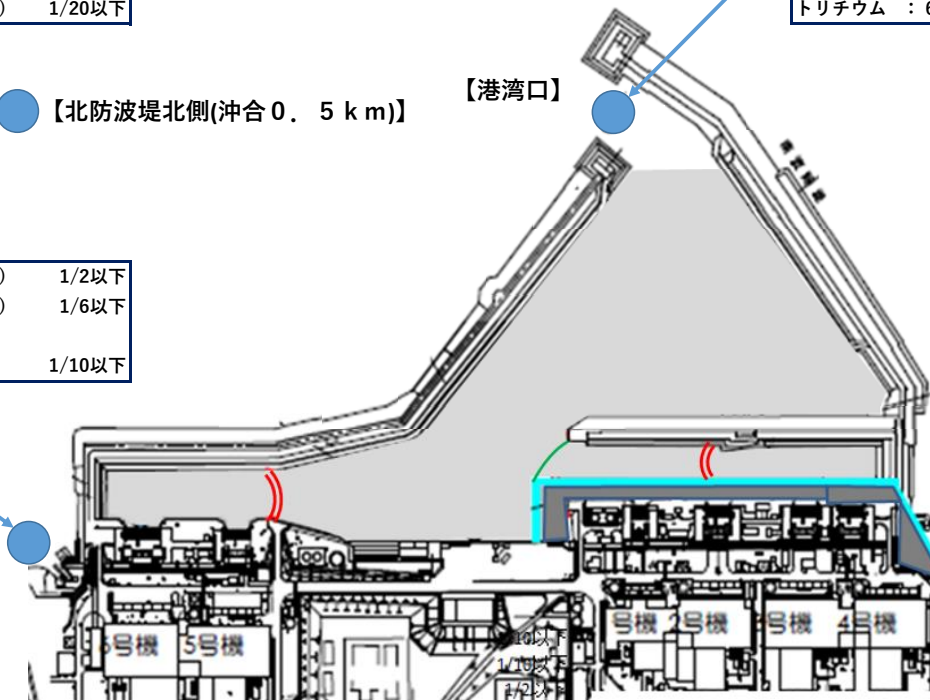
セシウム134	: 1.8 (H25/6/21) → ND(0.84) 1/2以下
セシウム137	: 4.5 (H25/3/17) → ND(0.68) 1/6以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23) → 10
トリチウム	: 8.6 (H25/6/26) → 0.45 1/10以下

【5,6号機放水口北側】

【南放水口付近(※)】

セシウム134	: ND (H25) → ND(0.75)
セシウム137	: 3 (H25/7/15) → ND(0.74) 1/4以下
全ベータ	: 15 (H25/12/23) → 12
トリチウム	: 1.9 (H25/11/25) → 0.59 1/2以下

海側遮水壁
シルトフェンス
工事汚濁防止フェンス



注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル／リットル程度含まれている。

※R3年12月に採取地点の浸食により、採取地点を南放水口から南に約320mの地点から同放水口から南に約1,300mの地点に変更。R5年9月に浸食が解消したことから、採取地点を元の南放水口から南に約320mの地点に変更。更にR6年6月11日からは浸食により採取地点を南放水口から南に約1,300mの地点に変更。

出典：東京電力ホームページ 福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果
<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>